

植物多様性センターの「カエデの実比べ」

奥多摩エリアのメグスリノキに実が付いています。メグスリノキは雌雄異株で、植物多様性センターでは今年初めて実ができました。メグスリノキを含むカエデ属の実は、片側に翼のある2つの分果が合わさった形をしています。どれも形は似ていますがメグスリノキの実は8cm以上あり、約3cmほどしかないイロハモミジの実と比べると大きく、翼も厚くてしっかりとしています。学習園内には他にもハウチワカエデやウリカエデなどがあり、比べてみると、どの実もとても個性がありました。



メグスリノキ:雌雄異株。実は伏毛が密生する。



イロハモミジ:雌雄同株。実は無毛で丸く、光沢がある。



ハウチワカエデ:雄性同株。実は4-5cmで軟毛が生える。



ウリカエデ:雌雄異株。実は3-4cmで無毛、横に長い。